

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第5弾

「非正規労働者の増加は私たちに取って大きな問題だ！」

～一人でも多くの労働者のクラシノコアゲ実現を目指そう～

クラシノソコアゲ応援団・2016街頭行動第5弾は8月9日午後5時30分からJR福島駅東口の中合前にて、丁度台風5号が福島県沖を通過していて、吹き荒む強風にもめげずに、連合福島と県労福協並びに県北地域連合の主催により開催された。

冒頭、主催者を代表して今泉裕連合福島会長は、「近年人工知能AIが進化してきたことで、近い将来働き方改革が起きて来る。これまで労働者が行って来た業務が、人工知能に置き換えられる可能性が極めて高く、そのことは労働者が働く場を失うことに結びつく。併せて現在は低賃金で働く非正規労働者の割合が年々増加し、働く人の約4割を占めるようになった。さらにその割合は今後も増加傾向にあり、労働格差が拡大している。それぞれ私たちににとっては大きな問題と成り得るし、後者はすでに成っている。これからも私たちは一人でも多くの労働者のクラシノソコアゲ実現を目指し、労働運動を展開して行かなければならない。」と挨拶した。



道行く市民にティッシュを配布する
行 金子恵美衆議院議員と社民党福島県連副代表
紺野長人県議会議員、福島県高齢退職者連合 大倉
冬樹会長から、応援と激励のご挨拶を頂いた。



主催者を代表し挨拶する連合福島今泉裕会長

働く人の約4割を占めるようになった。さらにその割合は今後も増加傾向にあり、労働格差が拡大している。それぞれ私たちににとっては大きな問題と成り得るし、後者はすでに成っている。これからも私たちは一人でも多くの労働者のクラシノソコアゲ実現を目指し、労働運動を展開して行かなければならない。」と挨拶した。

その後、
民進党福島
県連代表代



力強いガンバロー三唱で締める

さらに、連合福島鈴木三男副会長と県労福協佐久間通事務局長からクラシノソコアゲ応援団の取り組みについて、強くアピールがなされた。また、道行く人へクラシノソコアゲ応援団のチラシが入ったティッシュ配布を行って、連合が取り組んでいる活動に対して、市民の皆さんに理解と協力を求めた。最後に成田威文 県北地域連合議長代理の力強いガンバロー三唱で、街宣行動は締められた。



今こそ暮らしの底上げを！